



平成23年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成22年12月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 くらがねや
コード番号 9855 URL <http://www.kuroganeya.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役(管理担当)
四半期報告書提出予定日 平成22年12月28日

(氏名) 堀込 丹
(氏名) 川崎 謹五
配当支払開始予定日

TEL 055-241-2472
平成23年1月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第2四半期の業績(平成22年5月16日～平成22年11月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	8,406	3.1	102	1.4	98	2.0	51	31.0
22年5月期第2四半期	8,152	2.2	101	26.0	100	0.0	39	9.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年5月期第2四半期	4.87	
22年5月期第2四半期	3.72	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年5月期第2四半期	16,565	8,327	50.3	780.50
22年5月期	16,893	8,349	49.4	782.54

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 8,327百万円 22年5月期 8,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年5月期		6.00		6.00	12.00
23年5月期		6.00			
23年5月期(予想)				6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の業績予想(平成22年5月16日～平成23年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	18,702	8.3	508	51.8	504	52.9	279	73.7	26.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年5月期2Q	11,581,205株	22年5月期	11,581,205株
期末自己株式数	23年5月期2Q	912,351株	22年5月期	911,889株
期中平均株式数(四半期累計)	23年5月期2Q	10,669,035株	22年5月期2Q	10,669,782株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第2四半期累計期間】	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
売上の情報	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出産業による外需が牽引し、内需に波及することが期待される状況でありました。しかしながら、急激な円高による輸出産業の後退、また、エコカー減税・補助の廃止やエコポイントの減額による消費マインドの低下等、先行きに対する不透明感が払拭できない状況が続いております。

このような状況の中、当社は、大商圏型のスーパーデポタイプと小商圏型の標準店との相乗効果及び補完関係を維持するために、それぞれの特性にあった売場レイアウトの変更、商品構成の見直しなどの施策を実施してまいりました。その中において、小商圏型の新しいフォーマットとしてリニューアルオープンいたしました山梨県の新田富店は、従来当社では扱っていなかった食品売り場を併設すると共に、「ドラッグコーナー」を新設することにより、商圏内の消費者の生活のあらゆる局面をサポートできるような新しい機能をもった店舗としてスタートいたしました。また、本年4月にオープンいたしました東京都の調布店におきましても、オープン時よりのお客様からの要望により、新たに「DIY資材館」を併設いたしております。

リフォーム事業の展開につきましては、受注の増加に伴い、営業力の強化と事務の集中管理及び展示場機能を目的として新たに甲府市の既存店(和戸店)に隣接して1,240㎡の大型ショールーム「くろがねや和戸リフォーム館」を新設いたしました。「リフォーム館」は、山梨県最大規模の住まいに関する総合展示場として、各メーカーのキッチンやバス、トイレなどの住宅機器が数多く展示されており、また、来店客に対しては、建築士や住環境に関して資格を持つ専門社員が常駐し、顧客の相談に対応しております。

なお、当第2四半期会計期間末における店舗数は、山梨県に13店舗、神奈川県に6店舗及び東京都に3店舗の合計22店舗であり、また、売場面積は80,337㎡であります。

これらの結果、売上高は84億6百万円(前年同四半期比3.1%増)となり、営業利益は1億2百万円(前年同四半期比1.4%増)、経常利益は98百万円(前年同四半期比2.0%減)、四半期純利益は51百万円(前年同四半期比31.0%増)となりました。しかし、売上高は前年同期を上回ったものの、新店及び増床効果による増収であり、既存店舗においては、前年同四半期を3~5%下回るなど、依然厳しい状況が続いております。収益面におきましても、売上高の伸び悩みに伴うコスト削減が有効に機能していないなど、予算どおりの利益を達成することが出来ませんでした。下半期において、より一層の人時コントロールなどにより、経費を圧縮して、収益確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は165億65百万円となり、前事業年度末と比較し3億28百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、有形固定資産の減少等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、支出した資金は80百万円(前年同四半期は2億58百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億3百万円、減価償却費2億70百万円、売上債権の減少額1億6百万円等の収入に対し、たな卸資産の増加額1億41百万円、仕入債務の減少額3億2百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は94百万円(前年同四半期は27百万円の収入)となりました。これは主に、有価証券の売却による収入3億円、敷金及び保証金の回収による収入1億79百万円等の収入に対し、有価証券の取得による支出3億円、有形固定資産の取得による支出1億67百万円、敷金及び保証金の差入による支出83百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は64百万円(前年同四半期は3億27百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入れによる収入21億円等の収入に対し、短期借入金の返済による支出17億円、長期借入金の返済による支出2億44百万円、配当金の支払額64百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、既存店の売場レイアウトの変更や商品構成の見直し等を積極的に行い売上高の増加を図る一方で、人件費等の適正化を図るなどのコスト削減により、業績予想の達成に努力してまいります。したがって、平成22年6月28日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益に与える影響は軽微であり、税引前四半期純利益は9百万円減少しております。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年11月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,221	712,282
売掛金	88,026	194,118
商品	4,032,696	3,890,963
貯蔵品	4,285	4,494
その他	243,922	314,427
貸倒引当金	113	194
流動資産合計	4,971,040	5,116,091
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,688,061	4,774,045
土地	3,881,240	3,881,240
その他(純額)	1,108,231	1,092,378
有形固定資産合計	9,677,533	9,747,664
無形固定資産	243,403	243,570
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,401,765	1,506,056
その他	292,248	300,750
貸倒引当金	20,229	20,189
投資その他の資産合計	1,673,784	1,786,617
固定資産合計	11,594,721	11,777,853
資産合計	16,565,761	16,893,944
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,061,630	3,144,823
短期借入金	2,088,808	1,713,808
未払法人税等	29,501	85,957
役員賞与引当金	10,268	21,260
その他	574,718	900,031
流動負債合計	5,764,925	5,865,879
固定負債		
長期借入金	1,698,380	1,917,784
退職給付引当金	-	46,075
その他	775,387	715,021
固定負債合計	2,473,767	2,678,880
負債合計	8,238,693	8,544,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,411,649	2,411,649
資本剰余金	2,466,074	2,466,074
利益剰余金	3,777,827	3,789,860
自己株式	329,875	329,731
株主資本合計	8,325,675	8,337,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,391	11,330
評価・換算差額等合計	1,391	11,330
純資産合計	8,327,067	8,349,183
負債純資産合計	16,565,761	16,893,944

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成21年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)
売上高	8,152,522	8,406,244
売上原価	5,872,802	6,028,260
売上総利益	2,279,719	2,377,984
販売費及び一般管理費	2,178,573	2,275,426
営業利益	101,145	102,557
営業外収益		
受取利息	653	587
受取配当金	1,333	1,509
投資有価証券売却益	880	-
受取事務手数料	18,925	17,692
その他	6,267	4,261
営業外収益合計	28,060	24,050
営業外費用		
支払利息	26,218	24,775
投資有価証券売却損	1,492	-
その他	846	3,230
営業外費用合計	28,556	28,005
経常利益	100,650	98,602
特別利益		
退職給付制度終了益	-	29,141
特別利益合計	-	29,141
特別損失		
固定資産除却損	18,940	14,993
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	9,158
特別損失合計	18,940	24,151
税引前四半期純利益	81,709	103,591
法人税、住民税及び事業税	32,438	19,542
法人税等調整額	9,582	32,065
法人税等合計	42,020	51,608
四半期純利益	39,688	51,983

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成21年11月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	81,709	103,591
減価償却費	255,300	270,625
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	9,158
貸倒引当金の増減額(は減少)	224	41
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,861	46,075
役員賞与引当金の増減額(は減少)	4,602	10,992
受取利息及び受取配当金	1,987	2,096
支払利息	26,218	24,775
投資有価証券売却損益(は益)	611	-
固定資産除却損	18,940	14,993
売上債権の増減額(は増加)	49,616	106,091
たな卸資産の増減額(は増加)	61,568	141,524
その他の資産の増減額(は増加)	30,469	47,162
仕入債務の増減額(は減少)	15,790	302,400
未払消費税等の増減額(は減少)	58,769	49,883
その他	106,859	7,110
小計	295,879	16,275
利息及び配当金の受取額	1,987	2,096
利息の支払額	26,032	24,690
法人税等の支払額	14,613	74,288
法人税等の還付額	972	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,192	80,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	12,287
有価証券の取得による支出	-	300,000
有価証券の売却による収入	-	300,000
有形固定資産の取得による支出	72,619	167,390
投資有価証券の取得による支出	440	20,500
投資有価証券の売却による収入	26,096	-
敷金及び保証金の差入による支出	12,623	83,450
敷金及び保証金の回収による収入	93,479	179,163
その他	6,381	10,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,513	94,294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,800,000	2,100,000
短期借入金の返済による支出	3,800,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	260,004	244,404
リース債務の返済による支出	14,492	26,523
自己株式の増減額(は増加)	112	144
配当金の支払額	53,348	64,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	327,957	64,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	42,237	110,060
現金及び現金同等物の期首残高	662,631	712,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	620,394	602,221

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上の状況

(1) 部門別売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)		前第2四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成21年11月15日)		対前年 同期比	(参考) 平成22年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
ダイニング用品	926,884	11.0	904,270	11.1	102.5	1,919,147	11.1
ホームファニッシング用品	497,590	5.9	526,856	6.5	94.4	1,076,093	6.2
デイリー用品	1,394,246	16.6	1,464,681	18.0	95.2	2,856,709	16.6
シーゾナル用品	587,550	7.0	525,015	6.4	111.9	1,785,769	10.3
園芸・ペット用品	2,099,048	25.0	2,043,166	25.0	102.7	3,906,304	22.6
カルチャー用品	391,371	4.6	380,228	4.7	102.9	833,968	4.8
D I Y用品	1,333,873	15.9	1,137,973	14.0	117.2	2,412,918	14.0
その他用品	941,091	11.2	915,095	11.2	102.8	1,971,013	11.4
商品売上高計	8,171,656	97.2	7,897,288	96.9	103.5	16,761,924	97.0
不動産賃貸収入	234,588	2.8	255,234	3.1	91.9	509,803	3.0
売上高合計	8,406,244	100.0	8,152,522	100.0	103.1	17,271,728	100.0

(注) 1. 部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ダイニング用品 (台所用品・調理小物)
- (2) ホームファニッシング用品 (家具・インテリア用品)
- (3) デイリー用品 (家庭用品・日用雑貨)
- (4) シーズナル用品 (季節品)
- (5) 園芸・ペット用品 (園芸用品・ペット用品等)
- (6) カルチャー用品 (文具用品・おもちゃ等)
- (7) D I Y用品 (日曜大工用品・リフォーム関係)
- (8) その他用品 (はきもの・カー用品・その他)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当第1四半期累計期間から部門別区分の方法を一部変更したため、前年同四半期比較にあたっては、前第2四半期累計期間分を変更後の区分に組替えて行っております。

(2) 地区別商品売上高

(単位：千円 千円未満切捨て)

地 区	当第2四半期累計期間 (自平成22年5月16日 至平成22年11月15日)		前第2四半期累計期間 (自平成21年5月16日 至平成21年11月15日)		対前年 同期比	(参考) 平成22年5月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
		%		%	%		%
山梨県	4,194,534	51.3	4,278,161	54.2	98.0	8,904,184	53.1
神奈川県	2,376,080	29.1	2,549,393	32.3	93.2	5,459,984	32.6
東京都	1,601,041	19.6	1,069,733	13.5	149.7	2,397,756	14.3
商品売上高合計	8,171,656	100.0	7,897,288	100.0	103.5	16,761,924	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。